

京都嵯峨芸術大学

NEWS

大学報告

教育後援会 総会報告



2014年度総会が7月6日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催されました。2013年度事業報告決算と2014年度事業計画・予算が承認され、新役員が選出されました。引き続き、江村学生支援委員長から学生の進路支援について報告が行われ、閉会后、学科分野別に担当教員との懇談会、大覚寺の境内を散策した。成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談会が実施されました。また、希望者の皆様を対象に、キャンパス見学会、大覚寺見学会を実施し、実習室など教育施設の見学や、だきました。

(管理運営グループ)

前期、進路・就職支援の取り組みとインターンシップ

2014年度前期、4月3日(木)のインターンシップ説明会に始まり8月1日(金)PC講座まで、主に毎週火曜日と水曜日を中心に計33回の説明会や講座を実施してきました。6月3日(火)と4日(水)の進路ガイダンスでは株式会社リクルートキャリアと日経就職ナビ運営の株式会社デイスコの協力により一般財団法人日本経済団体連合会の採用選考に関する指針などについて2016年度入社を目指す98名の学生に説明しました。

また、7月3日(木)には京都府中小企業団体中央会主催の伝統工芸業界研究セミナーを学内にて開催し、浅田製瓦工場代表と株式会社宇佐美徳堂代表取締役より「職人の壁を動作解析で乗り越える」と「絵画修復技術と素材について」をテーマに本学の学生と教職員23名、京都造形芸術大学と京都美術工芸大学の学生と教職員4名、計27名を対象に講演いただきました。本学への求人が3,144件(7月1日現在、前年同日2,708件)と就職環境改善傾向の中、入学年次に全学生が履修の教養ゼミで記入のキャリアアカルテに基づき、7月には芸術学部3回生と短期大学部2回生の各学科・分野等の研究室にて進路面談を実施しました。

なお、インターンシップでは、今年度から単位認定を可能とした公益財団法人大学コンソーシアム京都のプログラムを含めて計5企業様のご協力により、6名の実習生を受け入れていた。

さらに後期には、9月30日(火)の芸術学部3回生進路ガイダンスに始まり10月1日(水)の短期大学部1回生進路ガイダンス、10月7日(火)の先輩を囲む就職活動説明会など順次開催します。

(教務・学生支援グループ、キャリア支援担当)

学内公開講座

John Hatway 客員教授 公開講座 報告



今年度から客員教授に就任されたJohn Hatway先生の公開講座「科学者とアーティストの『ざまで』」が、7月9日(水)に行われました。先生は東京大学大学院で量子極限物理学を学んだサイエンティストであり、絵、デザイン、小説トであり、絵、デザイン、小説装置開発、ロボット開発、ソフトウェア開発、動画、3D立体画など、科学的探究に基づいた理論テクノロジーとアート表現を融合させた制作活動で知られています。講演では自身の生い立ちから、田清輝をはじめとする先達の画論を引きながら、絵画とは何かという基本に触れ、絵の具とは何か、下地の役割はどのようなものかなどについて、約2時間半に及ぶ熱気あふれる講義をしていただきました。

(芸術学部・宇野和幸教授)

法についても分りやすくお話しくださいました。最近取り組んでおられる彫刻とロボットの中間物Delta Figureの紹介もありました。科学者から絵描きになった異色の方ですが、その創作哲学は一貫しており、参加した学生からも好評でした。John Hatway先生は7月26日(土)のオープンキャンパスでも特別講義をして頂きました。

(短期大学部 安斎レオ客員教授)

佐藤一郎 客員教授 講演会報告



今年度から芸術学部の客員教授に就任された、佐藤一郎先生の公開授業「油画材料技法:保存修復研究ゼミヴォーリー 絵画の材料技法と表現」が、7月29日(火)のオープンキャンパスに合わせて行われました。黒田清輝をはじめとする先達の高校生にもわかりやすい基礎的な内容でありながら、絵画芸術の深さに触れることが出来た素晴らしい授業でした。

(芸術学部・宇野和幸教授)

2014年度 オープン キャンパス 体験入学 報告



2014年度のオープンキャンパスを4月27日(日)、6月15日(日)、7月26日(土)、7月27日(日)に開催しました。今年度のオープンキャンパスは、キャラクターデザイン領域開設に係る企画をはじめ、多くのイベントを実施しました。現在、10月5日(日)に予定しているオープンキャンパス以外での総来場者数は1,228名(受験生734名、保護者373名)のぼりでした。また今年度より、事前予約のうえ1日かけて希望分野領域の授業を体験していただく体験入学イベントを6月22日(日)と7月13日(日)に実施しました。参加者数は合わせて141名にのぼり、多くの方々に本学での学びを体験していただくことができました。次年度以降のオープンキャンパスでは引き続き広報活動や内容の充実に取り組み、来場者の増加を目指していきたいと考えています。(入学広報グループ)

2015年度 入学関係情報 告知

2015年度入試より、新たな入試種別「ファミリー入試」を導入しました。こちらは、「卒業生の子女」「卒業生の兄弟・姉妹」「在学生の兄弟・姉妹」を対象とした専願制入試制度で、本人入試で合格し、入学される際には入学金全額が免除となります。さらに新たな奨学金制度として「推薦入試奨学金」が設置されました。本制度は、指定校制推薦入試もしくは公募制推薦入試を専願で受験し入学される方に、芸術学部は37万5000円、短期大学部は30万円を給付する制度です。また、2014年度入試から導入しました「スカラシップ入試」を、今年度も実施いたします。本人入試で特待生として採用されます。また入学関連のイベントとしては、10月5日(日)にオープンキャンパス、秋頃に実施する予定です。引き続き、一人でも多くの方々に本学での学びを知っていただけるよう努めて参ります。(入学広報グループ)

教学振興 資金寄付の お願い



本学園では教育研究に關わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金のご寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動の充実、施設設備等教育環境の充実、奨学制度の充実など、学生の学びの環境の充実に活用されます。金額は1口1万円(1口未満のご奉仕もありがたくお受けいたします)で、2014年7月から2015年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、企業・法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学ホームページ「ご寄付のお願い」の申し込みフォームよりお申し込みください。(下記QRコードよりアクセスしていただけます)また、企業・法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄附金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。お申し込んだ後、専用の払込取扱票(手数料は無料)をお送りいたします。

本学「ご寄付のお願い」ウェブサイトURL
<http://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

問い合わせ先:
 京都嵯峨芸術大学 管理運営グループ(寄付金窓口)
 Tel. 075-864-7858 / Fax. 075-881-7133
 e-mail. soumu@kyoto-saga.ac.jp

申し込みフォームはこちら↓

今年の 嵐芸祭は 「まほう」が テーマ



嵐芸祭とは、京都嵯峨芸術大学で行われる学園祭のことです。この日は学内にいる全ての人が嫌なことも悩みも全部忘れて、1年間が一番活気に溢れ笑い盛り上がる2日間です。今年は、学生が作品制作をし、新たなものを生み出すことがひまわりの魔法のようで、嵐芸祭をきっかけにさらなる制作意欲を高めてほしい思いと、実行委員会も在学生も卒業生、教職員の方や来場者の方も全員で一つの嵐芸祭を作り上げるというコンセプトを掲げ、「まほう」というテーマに決定しました。嵐芸祭当日は学内全体がまるで魔法にかかったように変身します。当日は模擬店やフリーマーケットはもちろん、美大ならではの展示会や、学内の真ん中にあ

下さい!
 (嵐芸祭実行委員会委員長 白川ナナミ)

TOPICS

教員・在学生・卒業生の活躍

各種連携

生涯学習講座 「妖怪のお面を 作って嵐電に 乗ろう」 レポート



毎年開催している「小学生夏休み講座」以外に、昨年引き続き「妖怪のお面を作って嵐電に乗ろう」(小学生対象、保護者参加も可)という講座を、8月23日(土)に嵐電と連携し開催しました。嵐電のイベント「乗ろう」

毎年少しずつ、今年も「妖怪電車」の運行に合わせ、本学卒業生で非常勤講師の妖怪創作家・妖怪文化研究者・河野集也さん指導のもと、お面を素材に子供達がユニークな妖怪を作りあげました。

講座終了後、妖怪に変身した子供達は車折神社駅より嵐電に乗車し、嵐山駅での「妖怪総選挙」にエントリーをしたあと、妖怪電車に乗りました。車内では学生サークル「百妖箱」が扮装した妖怪が登場、車内は歓声と悲鳴に包まれました。

愛宕古道街道 灯し レポート



8月23日(土)から25日(月)にかけて19回目となる「愛宕古道街道灯し」が開催され、学生サークル「竹造-TAKEZO」が中心となり制作した巨大行灯を含む800基が清涼寺(嵯峨釈迦堂)から愛宕神社一の鳥居までの街道沿いに並びました。あだしの念仏寺での千灯の供養、また地蔵盆にあたる日の夕べにあわせ、瀬戸内寂聴氏と嵯峨野保勝が共に作りあげてきたものです。

展示された行灯は、地元の方や小中学生と共に制作したもの、右京区にある児童館との連携により子供達と制作したもの、本学生涯学習講座の受講生が制作したものが並びました。

23日の18時30分からは(社会連携・研究支援グループ)の鳥居前で点灯式が開催されました。また、いくつかの学生グループが企画した手作り市「くるくるナイトマーケット」も開催され、祭り全体が活気づいたものになりました。

サガ・クリエイティブ(SCC)の活動報告



サガ・クリエイティブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動の支援、文化事業における事業連携、卒業生相互の交流と親睦を深めることを目的に、2013年11月に発足しました。発足から半年余りが過ぎ、現在SCCでは、会員から寄せられた個展やイベントなどの情報を本学Webサイトに掲載するとともに、メールで定期的に全会員に配信しています。

また今年度は4回のワークショップを企画し、既に2回のワークショップを実施いたしました。第1回目は森本学長による講演会「芸術の力を究める」(4/29)、第2回目は、現代美術家の岡本光博氏を迎え「ことばの美術」をテーマに講演会を行いました(7/5)。いずれもSCC会員の他に在学生会や一般の方にも多数参加いただき、充実した会となりました。

第3回目のワークショップは、11月16日(日)に開催されます。本学の生活デザインは、180名余(2014年7月30日現在)とまだまだ少ないですが、大学から卒業生への情報発信の場として、また卒業生相互の交流の場として今後も様々な活動を展開していく予定です。(学長室)

「新・寺子屋 計画2」 プロジェクト 「垣見祭」



8月17日に「新・寺子屋計画」プロジェクト第2弾である「垣見祭」を開催しました。本プロジェクトは本学学生が中心となって地域住民と協力しながら、お寺を「集」の場として復活させようというプロジェクトです。3年計画で滋賀県東近江市大日山金剛寺本堂の天井画制作を柱に「地域」「教育」「文化」をテーマに地域住民と一緒にイベントを盛り上げ、お寺を「地域交流の場」としての再生を目指しています。

2年目になる今年は「教育」をテーマに滋賀県湖東の高校生にも参加を呼びかけ、本学学生と共同で天井画公開制作を行いました。参加高校は7校で総数20名の高校生の参加があり、日本画の絵具に初めて触る高校生に対し、本学学生が丁寧に指導をしながら和やかな雰囲気で行われました。高校生だけではなく本学学生にとっても有意義な機会でした。

また、本学サークル「竹造」あらし山びこ「筆曲の

「新・寺子屋計画2」プロジェクト「垣見祭」

触る高校生に対し、本学学生が丁寧に指導をしながら和やかな雰囲気で行われました。高校生だけではなく本学学生にとっても有意義な機会でした。

また、本学サークル「竹造」あらし山びこ「筆曲の

(芸術学部・仲政明教授)

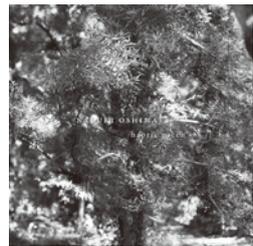
「嵐山アートプロジェクト」報告



嵐山アートプロジェクトのタリーズ店内に版画作品の展示を行い、嵐山を訪問した多くの方に本学学生の作品を展示し、学生が作品を展示し、季節に合った涼しげな演出が好評を得ました。染織作品は、週替わりで作られた。染織作品で飾り、カフェ

のタリーズ店内に版画作品の展示を行い、嵐山を訪問した多くの方に本学学生の作品を展示し、季節に合った涼しげな演出が好評を得ました。染織作品は、週替わりで作られた。染織作品で飾り、カフェ

大島成己教授の写真集が出版された。



芸術学部、版画・写真領域教授、大島成己の最新シリーズを集めた写真集『Naruki Oshima haptic green』(テキスト、清水稜、英語版のみ)がドイツの出版社ケラー(Kehler)から出版されました。それを記念して、日本では東京、京都、大阪で出版記念展覧会が開催され、美術批評家の清水穰氏、写真評論家のタカザワケンジ氏、ブックディレクターの幅允孝氏、ファツシヨンエディターの西谷真理子氏など多彩な顔ぶれとのトークイベントも開催されました。海外では3月に台北の新苑画廊で個展とトークイベント開催を皮切りに、9月にアムステルダムで「Unseen」11月でパリで「Fuea Paris」Photoにてケラー社ブースにてブックサイン会を、そしてパリのマル地区にあるNextlevel galleryにて記念展覧会、及びイベントが開催されます。(入学広報グループ)

卒業生金澤麻由子さんの展覧会報告



金澤麻由子さんは2008年に本学大学院を修了、アーティストとして活躍しています。今年1月のヤマザキマザック美術館(名古屋)での個展を成功させ、夏休みには東京都現代美術館(東京)とあ

さご芸術の森美術館(兵庫)で大掛かりな作品を発表しています。いずれも彼女が在学中から取り組んでいるテーマの一つである「動く絵」というコンセプトのもとに制作されており、メディアアートの技法を生かしたインタラクティブな作品です。作品の前の観客をビデオカメラやセンサーでとらえ彼女の絵画の中にリアルタイムで取り込みます。子ども達はもちろん、おじいさんやおばあさん、そして若いカップルまで、彼女

の作品の虜になっていきました。9月にはベルリンでの個展が予定されています。今後の彼女の活動にご注目下さい。(芸術学部 松本泰章教授)

ギヤラリー 企画報告



附属ギヤラリーでは5月12日(月)~24日(土)まで長く非常勤講師を勤められ、現在は生涯学習講座の講師をしていただいている大西先生の「大西治雄 中山道を描く」が開催されました。7月22日(火)~27日(日)までは「John Hathway しました。附属博物館では6月15日(日)~27日(日)まで「漫画家 上村一夫の世界」昭和の絵師と呼ばれた男」を開催。45歳で天逝した氏のデザイナー時代から漫画家として活躍した時期までの約400点の作品を展示しました。在学生はもちろん全国から多と平成の絵師たち」とし、数来館いただきました。最終日には上村汀さん(上村一夫オフィス 堤抄子短大)准教授によるミュージアムトークも開催。また会期中には上村一夫コラボレーション企画展「昭和の絵師」とし、コミックアート分野の学生作品をアートスペース嵐にて展示しました。(社会連携・研究支援グループ)

「附属芸術センター」オープン記念展が開催



今年度より本学に開設された附属芸術センターのオープン記念展として、6月17日(火)から7月6日(日)までの期間「芸術の力」篠原猛史展が附属ギヤラリー・アートスペース嵯峨にて開催されました。

京都を拠点に国内外で作品発表をされている篠原猛史客員教授による絵画、版画立体造形など、バラエティ豊かな80余点の作品が一堂に会し、学内外より多数の鑑賞者が来場されました。

また6月24日(火)には学内ホワイエにて巨大ドローイングを制作する公開ワークショップをさらに6月28日(土)には芸術センター長の芳野明教授との対談企画「芸術の力ってなんだ?」が行われ、作品画像を見て

Information

本学関係者による展覧会情報

- 大沼 憲昭／芸術学部造形学科 日本画
『観○光』ART EXPO2014
会期:11月26日(水)～30日(日)
会場:京都 御寺泉涌寺(京都市東山区)
- 『一萌会』展
会期:12月13日(土)～19日(金)
時間:10:30～18:00
会場:一心堂画廊(京都市中京区烏丸六角下ル)
- 『星流の会』展
会期:1月2日(金)～6日(火)
時間:10:00～20:00(最終日は16:00まで)
会場:京都高島屋 6階美術画廊
- 竹内 三雄／芸術学部造形学科 彫刻
『Sculpture by the Sea Bondi 2014』
会期:10月23日(木)～11月9日(日)
会場: Bondi N.S.W. AUSTRALIA
オーストラリア・シドニー近郊、ボンダイビーチで開催される
野外彫刻展
会場URL: <http://www.sculpturebythesea.com>
- 江村 耕市／芸術学部デザイン学科 映像
『ニュー・ブランシュ2014
プロジェクト・マッピング』
会期:10月4日(土) 日没後
会場: 京都国際マンガミュージアム
会場URL: <http://www.kyotomm.jp/>

附属博物館 スケジュール

- 『第7回 先人達 泉地靖雄展』
期 間: 10月1日(水)～11月2日(日)
開館時間: 10:00～17:00
休 館 日: 11月2日以外の日曜は休館
※スケジュールは変更になる場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

- 『Circulation 6』
期 間: 10月7日(火)～12日(日)
- 『現代アート領域研究展示』
期 間: 10月14日(火)～18日(土)
- 『造形学科油画三回生自主企画展』
期 間: 10月20日(月)～26日(日)
- 『イラストレーションC3 作品展示と意見交換3
切実な絵2014』
期 間: 11月5日(水)～9日(日)
- 『客員教授 少女主義的水彩画家 たま作品展』
期 間: 11月11日(火)～29日(土)
- 『2014年度 デザイン学科卒業制作
プレゼンテーション展』
期 間: 12月3日(水)～6日(土)
- 『2014年度 短期大学部「絵本と絵画の作品展」』
期 間: 12月9日(火)～14日(日)
- 『第12回 SAGA ART JAM展』
期 間: 12月17日(水)～22日(月)
- 『京都・木と山の写真コンテスト(柚人工房、本学光画部)』
期 間: 1月6日(火)～12日(月・祝)

※開館時間などは後日決定します。スケジュールは変更になる場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵐」(遊意館1階2階・玄関ホール) スケジュール

- 『短期大学部アニメーション領域(2回生)前期課題作品展』
期 間: 10月7日(火)～10日(金)
- 『ポートフォリオ展』
期 間: 10月14日(火)～17日(金)
- 『大学院芸術応用プロジェクトA研究発表』
期 間: 10月20日(月)～28日(火)
- 『彫刻3回生展』
期 間: 11月4日(火)～8日(土)
- 『「Theatre -EgonSavinの劇空間-」
Branko Brandajs展』
期 間: 11月10日(月)～30日(日)
- 『デザイン学科卒制学内展示』
期 間: 12月2日(火)～9日(火)
- 『彭筱蓉(ホーショーヨー)とその仲間たち展』
期 間: 12月9日(火)～16日(火)

※スケジュールは変更になる場合があります。

京の美意識 スケジュール

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されている講師をお招きして、ご講演いただいています(参加料無料)。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(一冊千円)。

- 第91回 10月25日(土)
石田 正夫 (嵯峨野自治会連合会会長) 聞いて見て嵯峨野
- 第92回 11月15日(土)
田平 潤 (株式会社 田平製作所) 寺院の荘厳具
- 第93回 12月20日(土)
吉海 直人 (同志社女子大学表象文化学部教授) 百人一首の歌仙絵

※いずれの回も14:20～ 有響館G401教室にて(参加無料)
お申込み・お問い合わせは社会連携・研究支援グループまで。
TEL.075-864-7898

大学関連行事予定

Oct.2014 — Jan.2015

- 10月 5日(日)……………■オープンキャンパス
- 10月18日(土)……………■大学院入試(前期)
- 10月19日(日)……………■3年次編入学入試(前期)
■特別入試(前期)※海外帰国生・社会人・留学生
■ファミリー入試
■専攻科入試(前期)(短期大学部)
- 11月 1日(土)～11月2日(日)……………■嵐宮祭
- 11月11日(火)……………■公募制推薦入試
- 12月14日(日)……………■自己推薦入試(前期)(短期大学部)
- 12月23日(火・祝)～1月4日(日)……………■冬季休業
- 1月 5日(月)……………■年始授業開始

[編集後記]この夏は土砂災害など自然災害が多発し、広島をはじめ全国各地で多くの方が被害にあわれました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。幸い大学のある嵐山では、昨年の台風の際の河川の氾濫のような事は起こりませんでした。本学でも災害に対する備えを怠らないようにしなければならないと考えています。

さて、今号では、教育研究活動の現状をお伝えするとともに「教養振興資金寄付のお願い」を掲載させていただきました。更なる大学の発展のために、是非多くの皆様にご協力いただければ幸いです。(入学広報グループ)



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学 大学院・芸術学部・短期大学部

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>
京都嵯峨芸術大学広報 第50号 2014年9月26日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ 発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学 info@kyoto-saga.ac.jp

